

問1 応仁の乱ののち、各地に登場した戦国大名が、自らの領内の武士や農民の行動を厳しく取り締まり、領地の安定と統治を強めるために独自に制定した法律を何と称しますか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 御成敗式目                      2. 分国法                      3. 武家諸法度                      4. 公事方御定書

問2 16世紀半ば、種子島にポルトガル人を乗せた船が漂着し、日本に新しい兵器が伝えられた出来事について、その後の歴史に与えた影響として最も適切な説明はどれですか。（2020年 京都公立入試 類似）

1. 1543年に伝えられたこの兵器は、集団戦法への転換を促し、防御力の高い城郭の構造などにも大きな影響を与えた。  
2. この兵器の伝来により、騎馬武者が名乗りを上げて一対一で戦う伝統的な戦術がより一層重視されるようになった。  
3. この兵器は朱印船貿易が最も盛んだった江戸時代初期に初めて日本にもたらされ、幕府の軍勢力を支えた。  
4. この兵器は元軍が日本に襲来した際に初めて伝えられたもので、鎌倉幕府が滅亡する直接の原因となった。

問3 ポルトガルがバスコ・ダ・ガマを派遣し、アフリカ南端を経由するインドへの新航路を開拓させた主な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 新潟県公立入試 類似）

1. イスラム商人やイタリア諸都市に仲介料を奪われず、高価な香辛料を直接入手するため。  
2. 当時中国を支配していた元との貿易を拡大し、絹織物や陶磁器を大量に輸入するため。  
3. 地動説を証明するために、西回りで航海して地球を一周することが目的であったため。  
4. 北アメリカ大陸にあると信じられていた黄金の国「ジバング」を探索するため。

問4 ヨーロッパからアジアへ向かう海上航路において、アフリカ大陸の南端に位置し、中継地点として重要な役割を果たした場所の名称として正しいものはどれですか。（2020年 新潟県公立入試 類似）

1. 喜望峰                      2. マゼラン海峡                      3. パナマ運河                      4. スエズ運河

問5 戦国時代において、各地の戦国大名が自らの領国内を統治し、家臣や民衆を統制するために独自に制定した法律を何と称するか。（2021年 沖縄公立入試 類似）

1. 御成敗式目                      2. 分国法                      3. 公事方御定書                      4. 武家諸法度

問6 戦国時代、現在の島根県に位置する石見銀山は日本最大級の銀山として知られていました。この銀山の支配権をめぐる、中国地方を舞台に激しい抗争を繰り広げた戦国大名の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2026年 島根公立入試 類似）

1. 尼子氏と毛利氏                      2. 武田氏と上杉氏                      3. 島津氏と大友氏                      4. 織田氏と今川氏

問7 「甲州法度之次第」と呼ばれる分国法を制定し、領国内の統治を強化した戦国大名は誰か。（2021年 沖縄公立入試 類似）

1. 織田信長                      2. 上杉謙信                      3. 足利義満                      4. 武田信玄

問8 日本の歴史における主要な出来事を時系列で整理したとき、鎌倉幕府の成立、室町幕府の成立、応仁の乱に続いて、16世紀に発生した出来事としてふさわしいものはどれですか。（2020年 京都公立入試 類似）

1. 種子島への鉄砲の伝来                      2. 御成敗式目の制定                      3. 元寇による博多への侵攻                      4. 日明貿易（勘合貿易）の開始

問9 16世紀後半、甲斐や信濃の一部では「甲州ます」と呼ばれる独自の枧が使用されていました。中央の京で使われていた標準的な枧と容量が異なる「甲州ます」のような度量衡が地域ごとに存在していたことは、当時の政治体制についてどのようなことを示唆していますか。（2020年 愛知公立入試 類似）

1. 天皇を中心とした中央集権的な政治体制が、全国的な経済基準を統一するまでには至っていなかったこと  
2. 足利義昭が強力な権力によって全国の度量衡を統一し、各地域の経済活動を完全に管理していたこと  
3. 海外貿易を円滑に進めるため、輸出入の拠点ごとに異なる計測単位を用いることが幕府より推奨されていたこと  
4. 農業技術が未熟であったため、収穫量を正確に測るための全国一律の基準を作る必要性がなかったこと

問10 戦国大名は、自らの居城の周辺に家臣や商工業者を強制的に呼び寄せて住まわせ、領国支配の拠点となる町を築きました。このような町の形態を何と称しますか。（2016年 千葉県公立入試 類似）

1. 城下町                      2. 門前町                      3. 宿場町                      4. 港町

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 2</b> <b>分国法</b>	室町幕府の権威が衰えた戦国時代、各地の戦国大名は実力で領地を支配する必要がありました。そこで、家臣同士の私的な争いを禁じる「喧嘩両成敗」の原則などを盛り込んだ独自の法を定め、領国内の秩序を維持しようとした。鎌倉時代の御成敗式目や、江戸時代の武家諸法度とは制定された時代や目的が異なります。
問2	<b>答え 1</b> <b>1543年に伝えられたこの兵器は、集団戦法への転換を促し、防御力の高い城郭の構造などにも大きな影響を与えた。</b>	1543年（16世紀）に種子島へ鉄砲が伝来したことで、それまでの騎馬戦から足軽による集団戦法へと戦術が大きく変化しました。また、鉄砲の威力に対抗するために、石垣を高く積み上げた堅固な城郭が築かれるようになるなど、軍事・建築の両面で社会に劇的な変革をもたらしました。
問3	<b>答え 1</b> <b>イスラム商人やイタリア諸都市に仲介料を奪われず、高価な香辛料を直接入手するため。</b>	中世ヨーロッパではコショウなどの香辛料が非常に高価でしたが、陸路の貿易はオスマン帝国やイスラム商人、地中海貿易はイタリアの都市国家に独占されていました。ポルトガルはこれらの中間搾取を避け、莫大な利益を得るために海路での直接取引を目指しました。
問4	<b>答え 1</b> <b>喜望峯</b>	アフリカ大陸の最南端付近にあるこの地点は、ポルトガルの航海者バルトロメウ・ディアスによって到達され、のちにバスコ・ダ・ガマがここを通過してインド洋へと入り、インドへの航路を確立しました。大航海時代におけるインド航路の象徴的な中継地点です。
問5	<b>答え 2</b> <b>分国法</b>	室町幕府の権威が衰退した戦国時代、各地の戦国大名は実力で領土を治める必要がありました。そこで、領国支配を安定させるために独自の法規範である分国法を制定しました。これは、大名の権力を強化し、家臣同士の私的な争いを禁じる役割を果たしました。
問6	<b>答え 1</b> <b>尼子氏と毛利氏</b>	石見銀山は現在の島根県大田市に位置し、戦国時代にはその莫大な利益を求めて周辺勢力が激しく争いました。当初は出雲国（現在の島根県東部）を拠点とした尼子氏が支配を強めていましたが、安芸国（現在の広島県）から勢力を伸ばした毛利氏がこれに挑み、長期にわたる抗争の末に毛利氏が支配権を確立しました。山梨県の武田氏や鹿児島県の島津氏は、活動拠点が異なるためこの地の直接的な支配権争いには関わっていません。
問7	<b>答え 4</b> <b>武田信玄</b>	甲斐（現在の山梨県）を拠点とした武田信玄は、領国支配を確かなものにするため「甲州法度之次第」を定めました。この中には家臣団の統制だけでなく、大名自身の行動を制約する条文も含まれており、領国全体で法による秩序を作ろうとした点が特徴です。
問8	<b>答え 1</b> <b>種子島への鉄砲の伝来</b>	鎌倉時代の御成敗式目制定や元寇、室町時代の幕府成立や応仁の乱を経て、戦国時代に入った1543年にポルトガル人によって鉄砲が伝えられました。これは時系列において、室町幕府が衰退し戦国大名が台頭する時期にあたります。
問9	<b>答え 1</b> <b>天皇を中心とした中央集権的な政治体制が、全国的な経済基準を統一するまでには至っていなかったこと</b>	16世紀後半の日本では、武田氏などの有力な戦国大名が独自の領国支配を行っていました。甲斐や信濃で「甲州ます」という独自の基準が使われていた事実は、長さや重さ、容積の基準である「度量衡」が全国で統一されていなかったことを示しています。これは、当時の天皇や室町幕府といった中央の権力が、全国的な経済基準を強制できるほどの中央集権的な政治体制を確立できていなかったという背景があります。その後、織田信長や豊臣秀吉による天下統一の過程で、次第に度量衡の統一が進められていくこととなります。
問10	<b>答え 1</b> <b>城下町</b>	戦国大名は、領地を効果的に支配するために、それまで各地に分散していた家臣を城の周辺に集め、軍事力を強化しました。同時に、武器の製造や物資の流通を担う商工業者を住まわせることで、経済の活性化も図りました。福井県の一乗谷（朝倉氏の拠点）などは、その代表的な遺跡として知られています。